

富

毎月29日は  
富久屋の日

## 9月の富久屋の日 生どら無花果



29日は「2（ふ）9（く）」、  
ということ、毎月、その日限  
定の和菓子を販売しております。  
富久屋の日の和菓子は、当社  
が誇る3名の女性職人が発案し、  
試作品を作り、話し合いの上に  
完成させています。ですから、  
女性ならではの「こんな和菓子  
も食べたいな」が盛り込まれて  
いるのです。

### 期間限定販売 いちじく大福

好評につき今年も  
9月中旬から10月末までの  
期間限定の販売予定です。

○北海道産白隠元使用の白餡  
○朝採りの新鮮なまるごと  
いちじく使用  
これらの全体の味のバランス  
を考慮し柔らかい求肥で  
包んだ大福です。



9月29日の富久屋の日の和菓子は「生どら無花果」。

某高級フルーツの老舗にも卸している、川島町の無花果園場から朝採りの新鮮な無花果をいただいています。無花果餡と生クリームをホイップしその上に朝採りのフレッシュな無花果をのせた贅沢な味が詰まったどら焼です。

この時期にしか味わえない無花果を是非ご堪能ください。 工房 関根

### 話 ■ ス ■ 録 ■ 語 ■ 録

#### ■ 夏休み

朝風呂の中で目をつむり、しばし・・・  
ミンミンゼミが泣いている。

突然昔の記憶がよみがえり、心のままに巡らせてみた。  
少年野球に明け暮れた夏、校庭の匂い、大きな銀杏の木。  
バックネット裏に自転車置き、暗くなるまで白球を追いかけた。

少年野球大会では小さな町内な訳で、ぎりぎりの人数で戦った。  
負けた後の皆で食べるカレーライスがやけに美味しく感じた。  
きつとみんなで食べるからだろう・・・

夏祭りは山車を引き、お神輿を担いだ。  
小学校の高学年では花棒・・・得意げに練り歩いた。

金魚すくいは好きだが、少ない小遣いが勿体なくてできず、  
大概は大好きなたこ焼き、かき氷に消えていった。

イカ焼き、甘栗、亀すくいは前記の都合で毎年断念・・・  
ただ、型抜きは一時夢中になった。

旨く抜けると現金がもらえる！に誘われて、が、結局つぎ込んで終わった。  
カプトムシやクワガタ取りには上級生に連れて行ってもらった。

でも、自分が上級生になったとき、下級生を連れて行ったのはサイクリングと称して、  
少し離れたところにある観音様だった。

さほど虫には興味がなかったのだろう。  
明らかに理科よりは体育人間だったから・・・

今でも記憶に綺麗な情景が残っているのは家族旅行、四万温泉、田村館。  
旅館の夕食に父が奮発して舟盛の生け作りを注文した。

ほんとに生きていて、舟から飛び出したから皆でビックリ・・・  
慌てた姿が目には焼き付いている。

また、散策に出かけた木漏れ日の道々は美しかった。  
目をつむると今でもほんの一部だが心に映る映像が美しく、今では切ない。

横道の茶屋で食べた田楽は子供の私には美味しくはなかったが、その姿は綺麗だった。  
長い休み、いったい何をしていたのだろう。

プールに行き、友達と遊び、たまに塾に通い、スイカを食べ、夏の夕暮れが好きだった。  
お昼は冷奴。頻度が高く、今では毎日でも飽きないが、当時はまたか・・・と

夜は裏の寺の広場でたびたび花火をした。近所にいた少し年の離れた関君が改造花火を  
作っては私たち小学生の前でして見せた。毎回どんな花火だろうと、わくわくしたのを覚えている。

大概は落下傘系だったと思う・・・  
今では記憶に遠くなりつつある夏休みの思い出。

そういえば、どの場面でもセミが鳴いていた・・・

